

インターンシップ報告

九州大学 大学院 システム情報科学府
修士1年 佐伯優太
2017/11/27

概要

- 企業

フューチャーアーキテクト株式会社

- 期間

9月4日 ～ 9月15日

- 場所

本社: アートビレッジ大崎セントラルタワー

- テーマ

IoT

内容：前半

目的：IoTデバイス向けの開発環境の構築

目標：**MakeCode**で**ESP32**に**プログラム**を書き込む

- MakeCode:

オープンソース(PXT : Programing Experience Toolkit)

Blocklyベースのビジュアル言語とJavaScriptに対応したエディタ

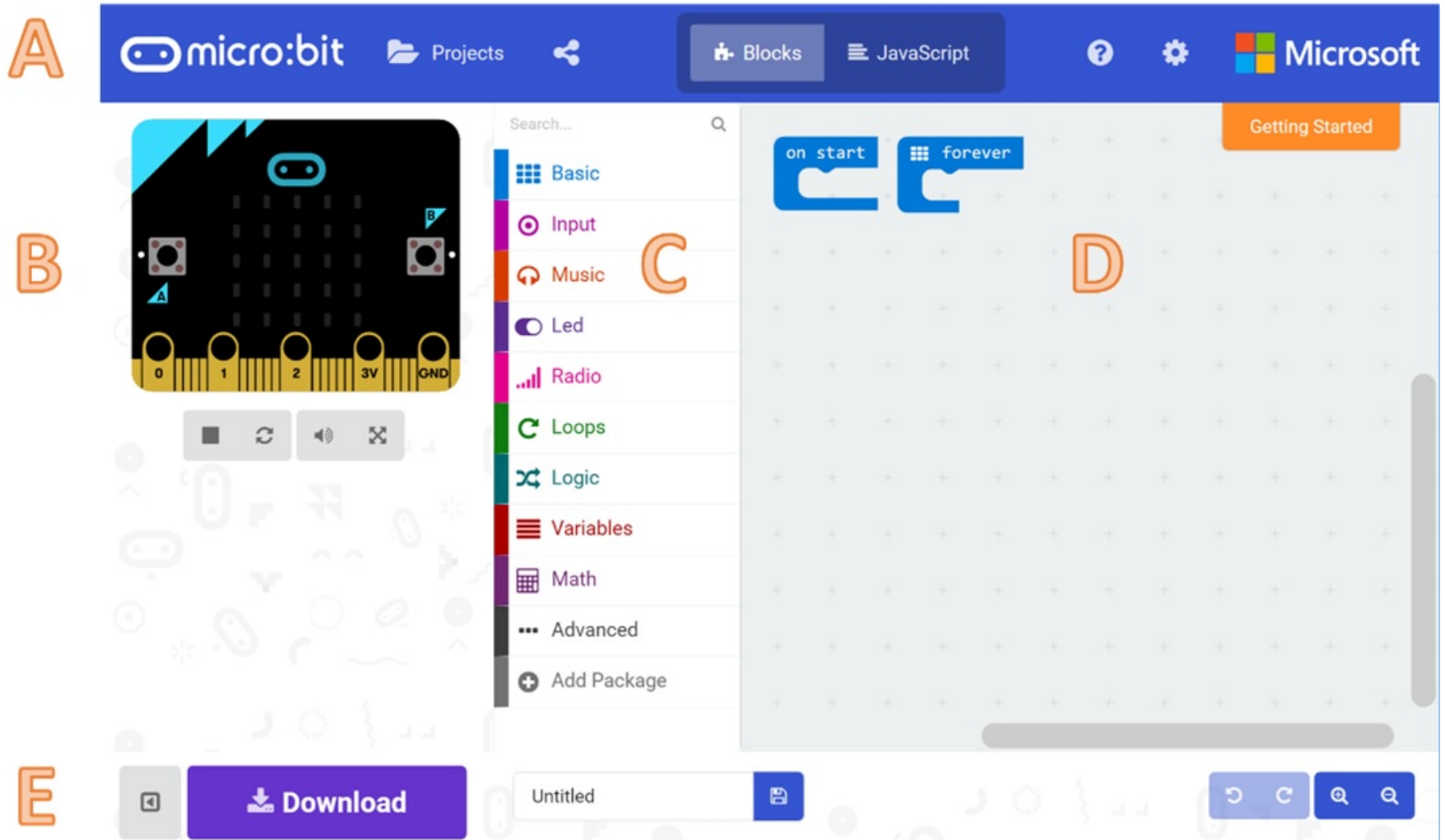
- ESP32:

WiFiとBluetoothを内蔵するマイコン

結論

プロセッサの違いから断念

MakeCode



ESP32-DevKitC(ESP-WROOM32開発ボード)



内容：後半

- Espruinoの調査

開発環境の構築に少々手間取ったがESP32へプログラムの書き込みを行った。

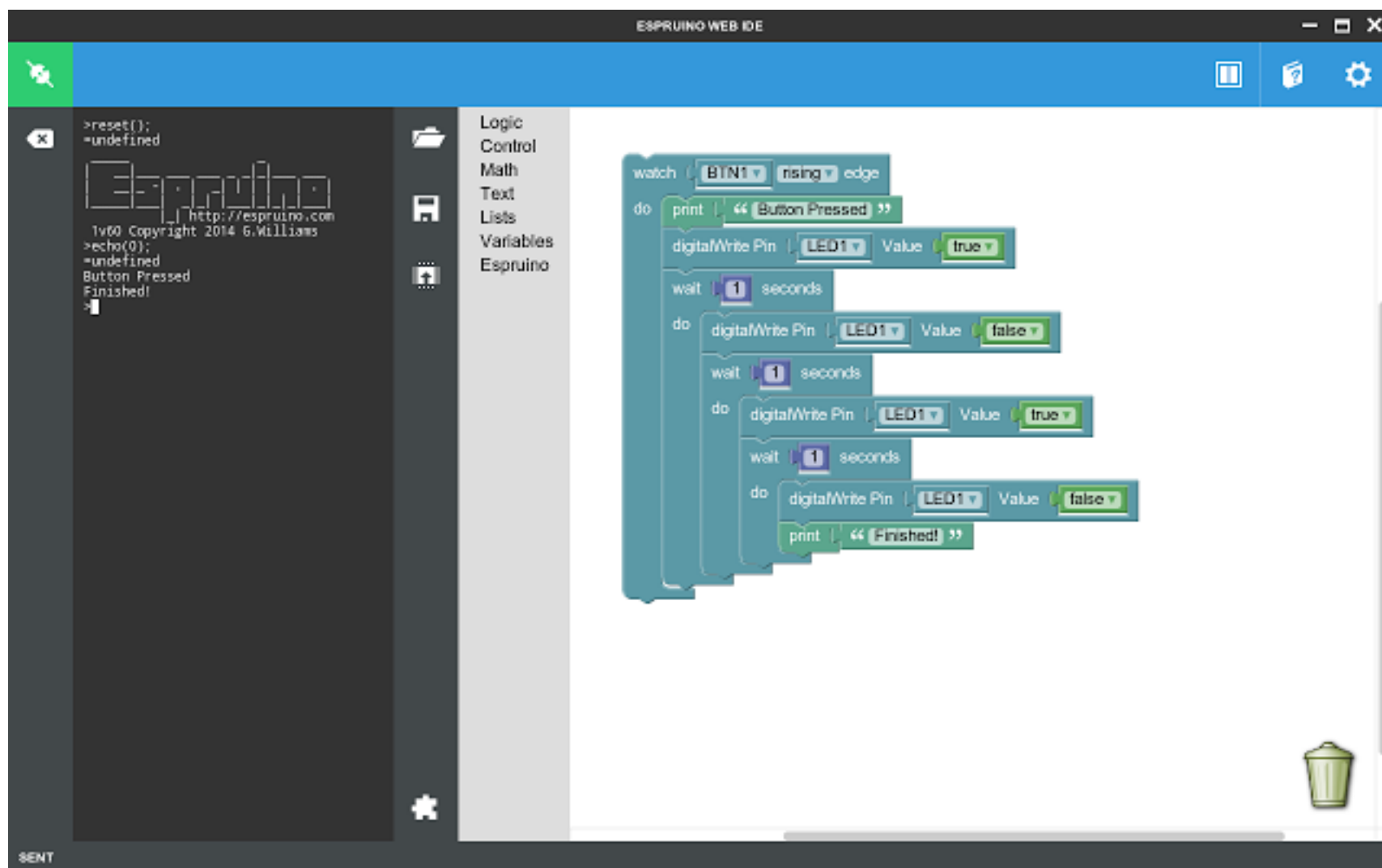
しかし，MakeCodeに対しシミュレータの不足などが課題

- micro:bitで有機ELディスプレイを使用

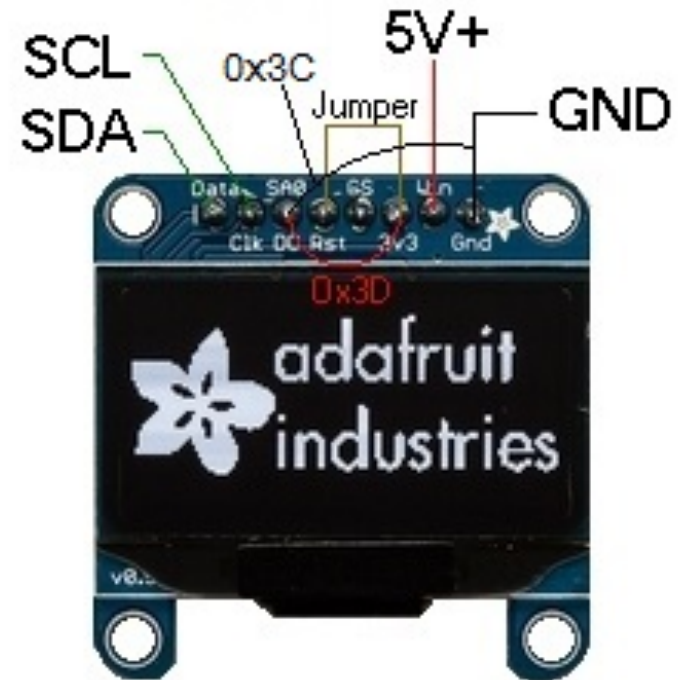
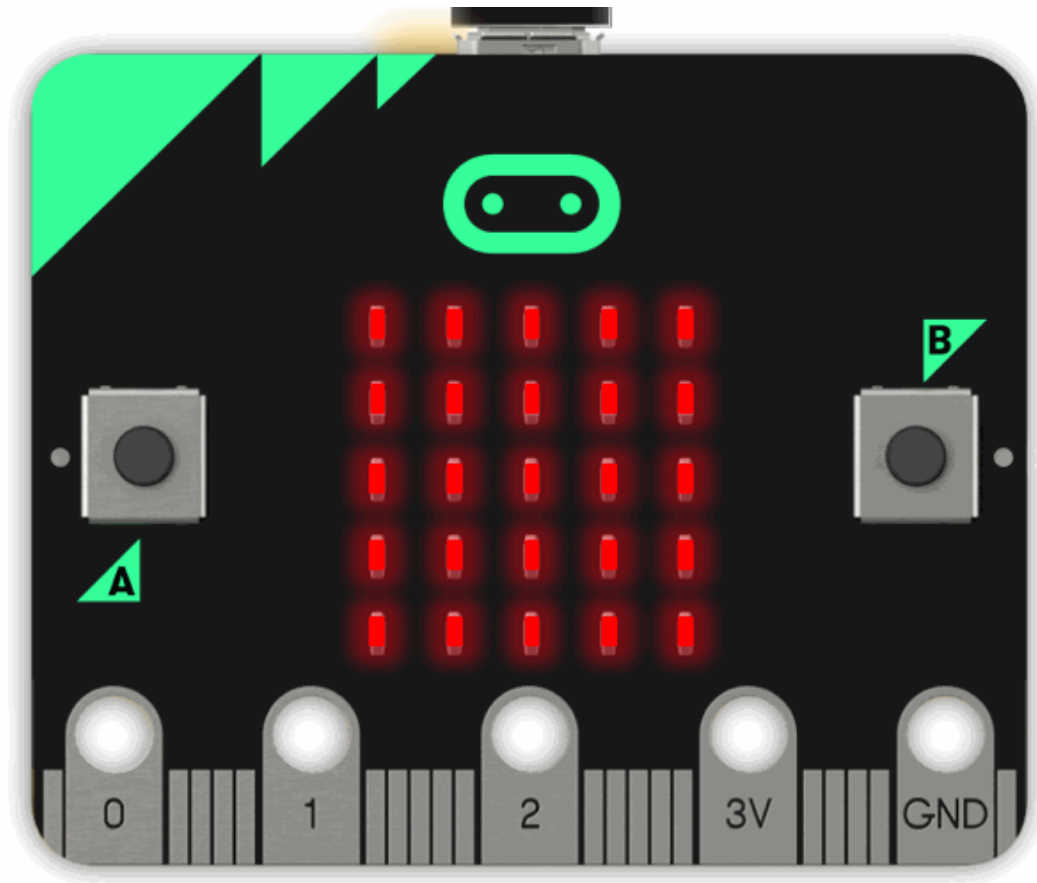
ディスプレイ用のライブラリをMakeCode内で使用できるようにし，各種表示機能をブロックで表示した。

まさかの個人作業

Espruino



micro:bit & 有機EL



学んだこと

- チーム開発
 - ドキュメントの大切さ
- 時間
 - 決められた時間の中での作業
 - 最後に一日の振り返りをする
- 会社による制約
 - 開発環境